

Case closed.



Fan Fiction of "ソードアート・オンライン"
行脚堂 presents / X-rated
case of "シノン"

Case closed.

Fan Fiction of "ソードアート・オンライン"
行脚堂 presents / X-rated
case of "シノン"

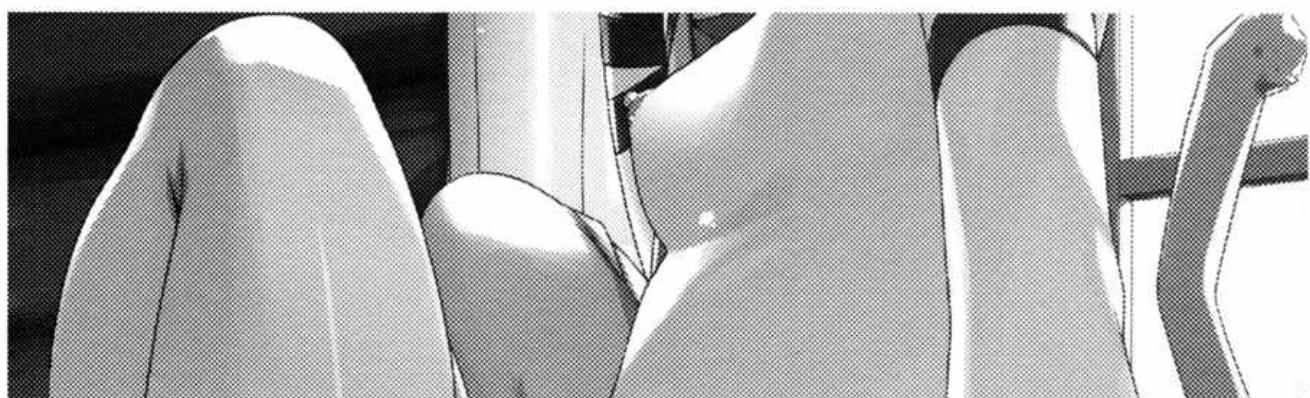
Case closed.

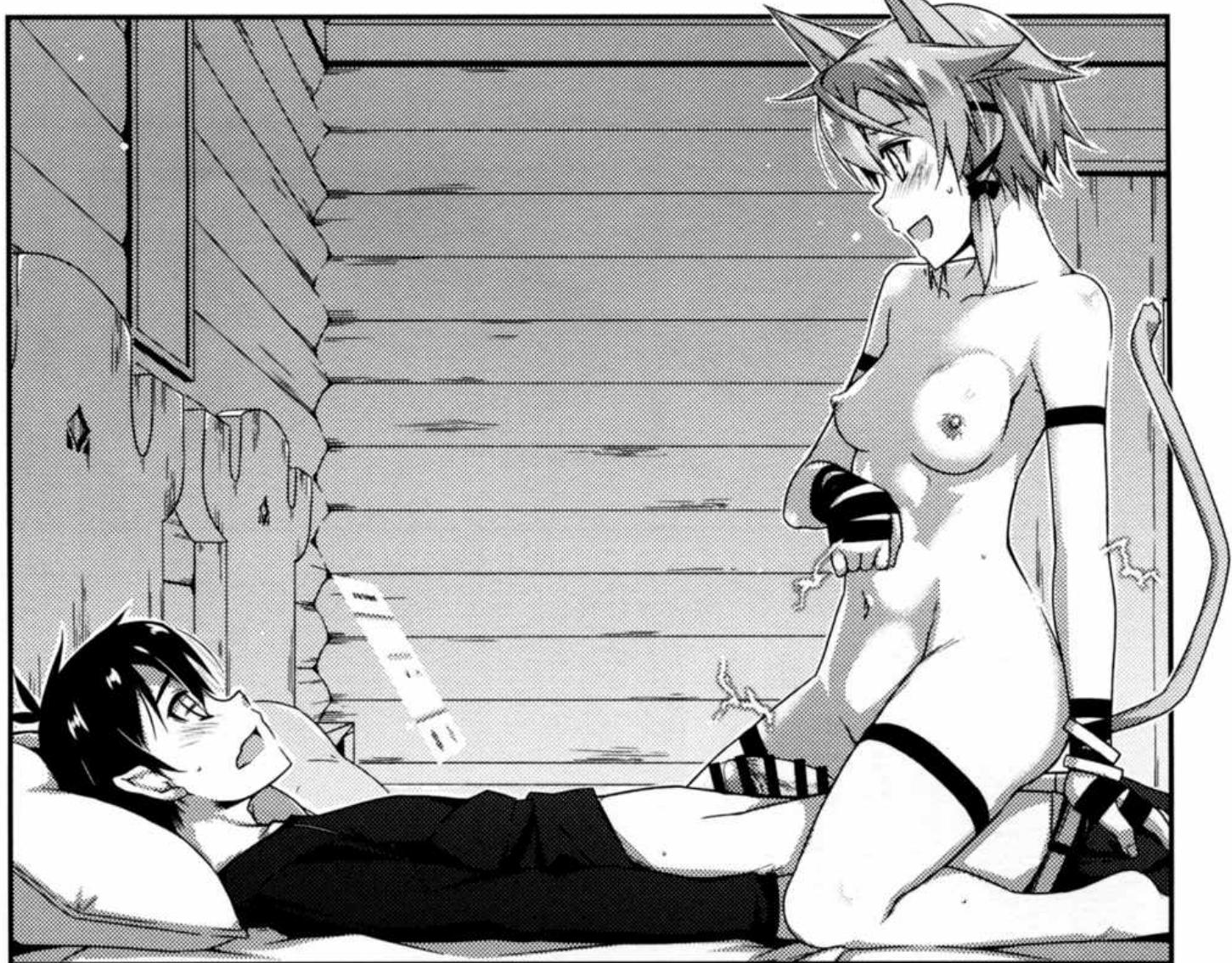
■ Disclaimer ■

Difference → Crack → Sprit → Break off (GGO派生)
→ Envy → Mount → case closed. (ALO派生)
↑イマコ!

というわけでALO編最終回となります。前回「Mount」から直接的に繋がっております乞御容赦。一応最初の方で状況説明ぶっ込んであります(^_^)ゞ
どれもこれもアスナがいながら態度を有耶無耶にしてきたキリトきゅんが悪いのですよ!(。A°)

というわけで本編どうぞ(=^ω^)/







それなのに

いまさら——
ハラスメント
防止コード
だなんて……
!!

なんて言うことは
発動するまでに
そんなに時間が……？

いまさら?

——ん?





—送りたければ
そうしなさいよ
監獄へ

監獄へ

キリトと……

ただ……私は

—こんな

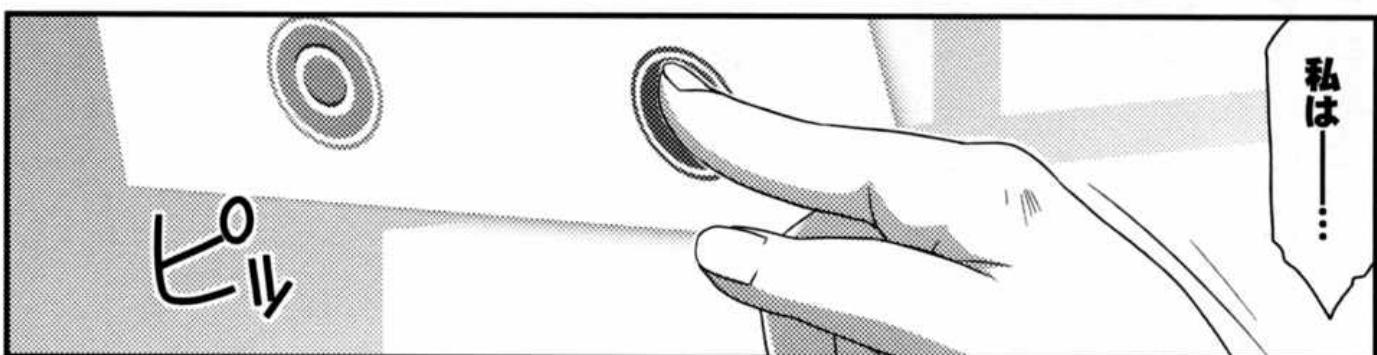
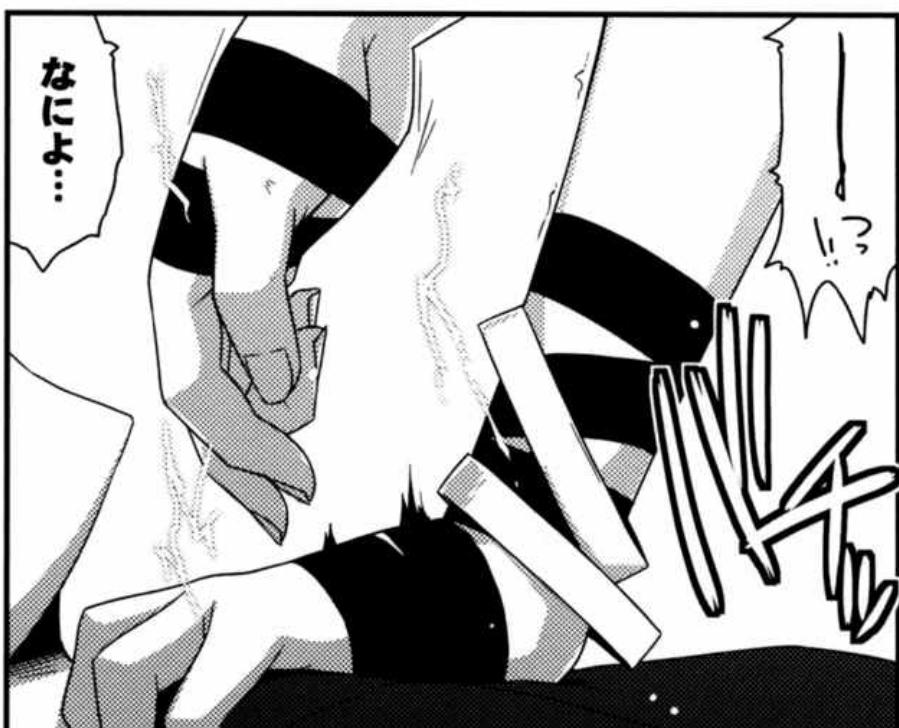
ハラストメント防止コード
こんなものが
なんだつていうのよ

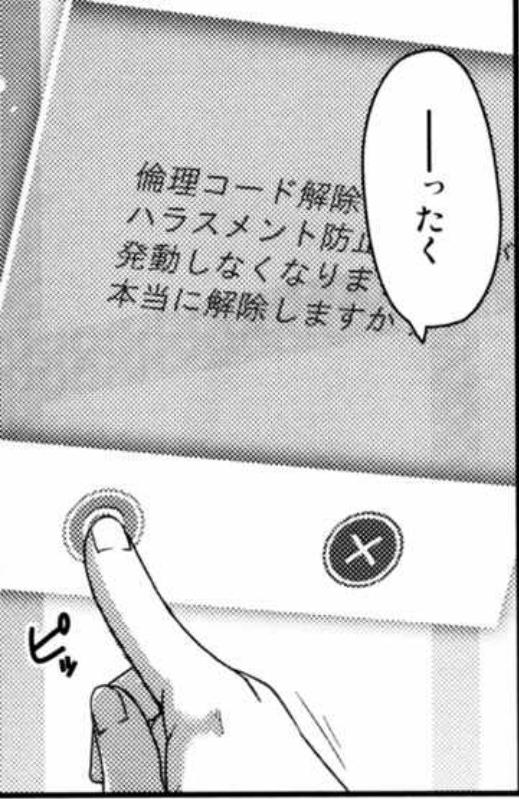
09

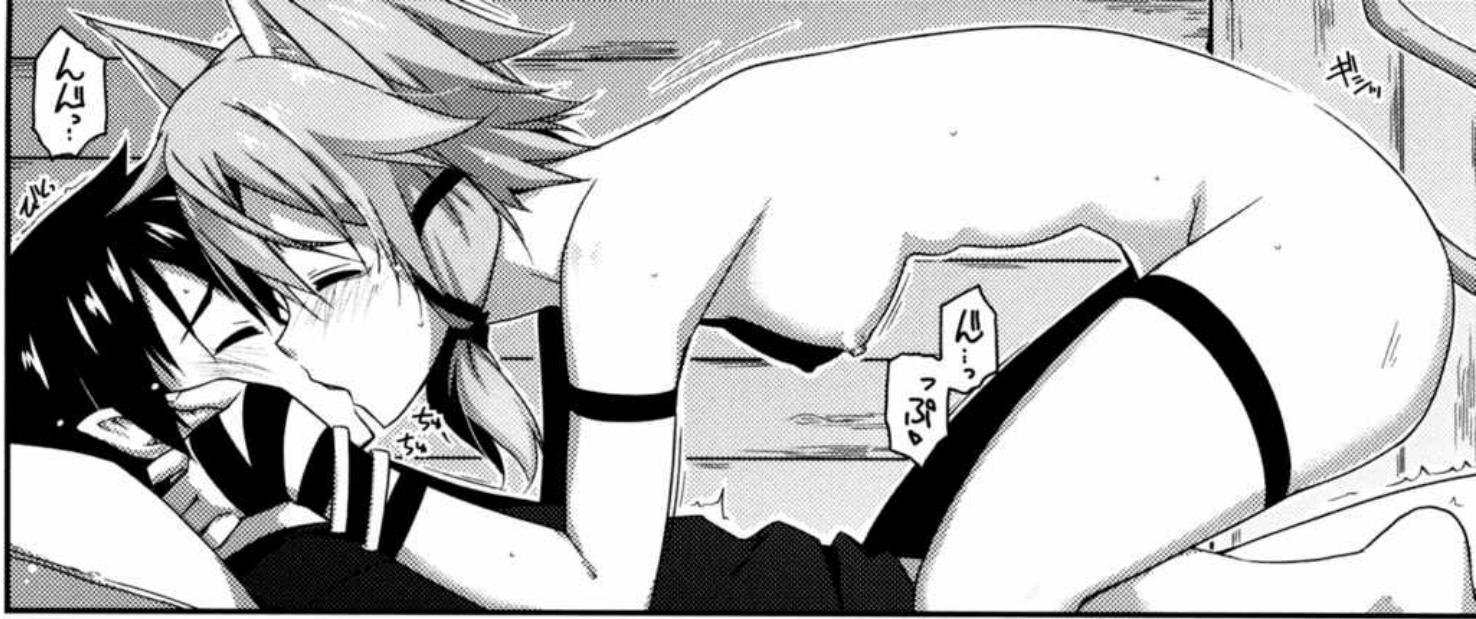
キリトとひとつに
なりたいのよ!!

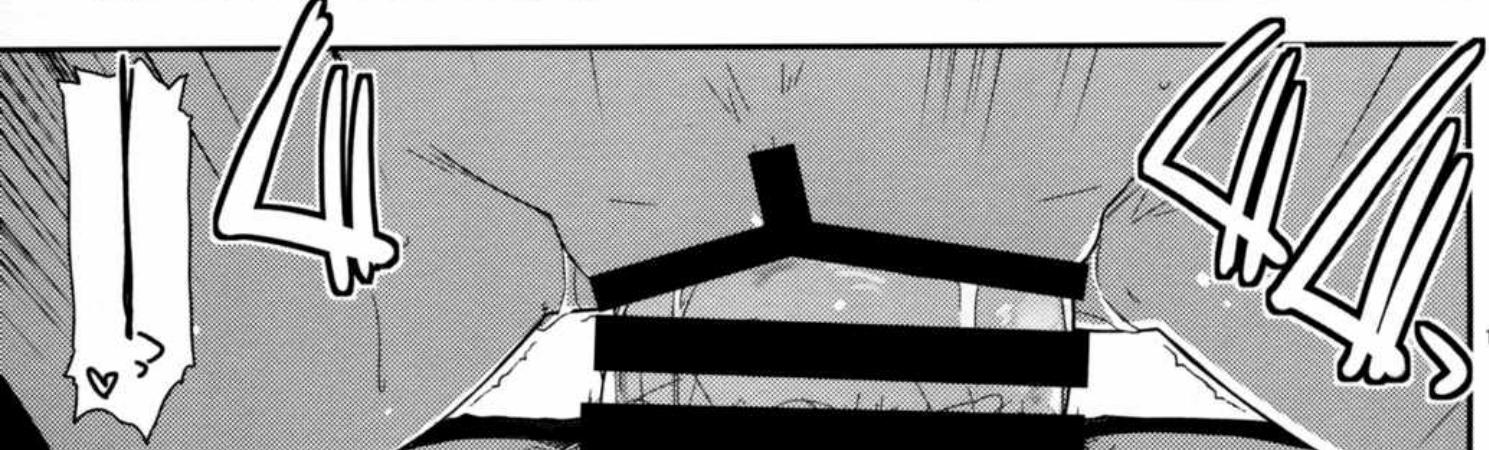
私は!!

キリトが
欲しいの!!



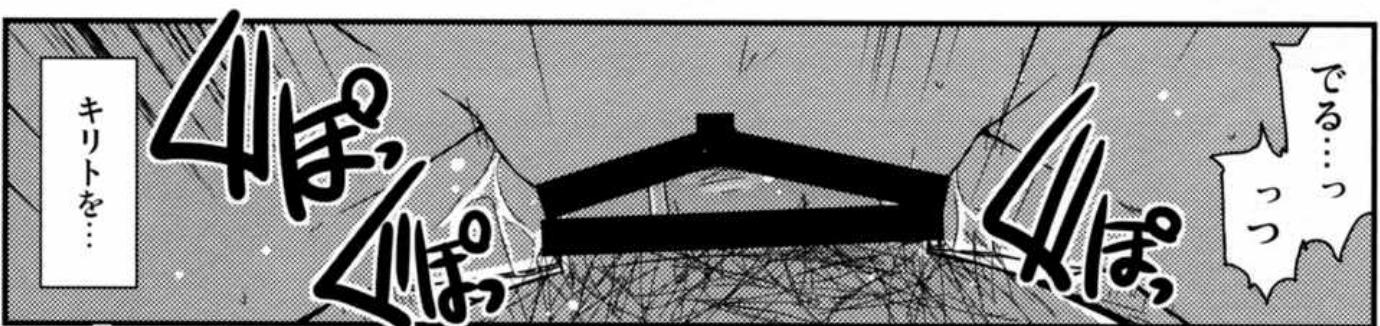








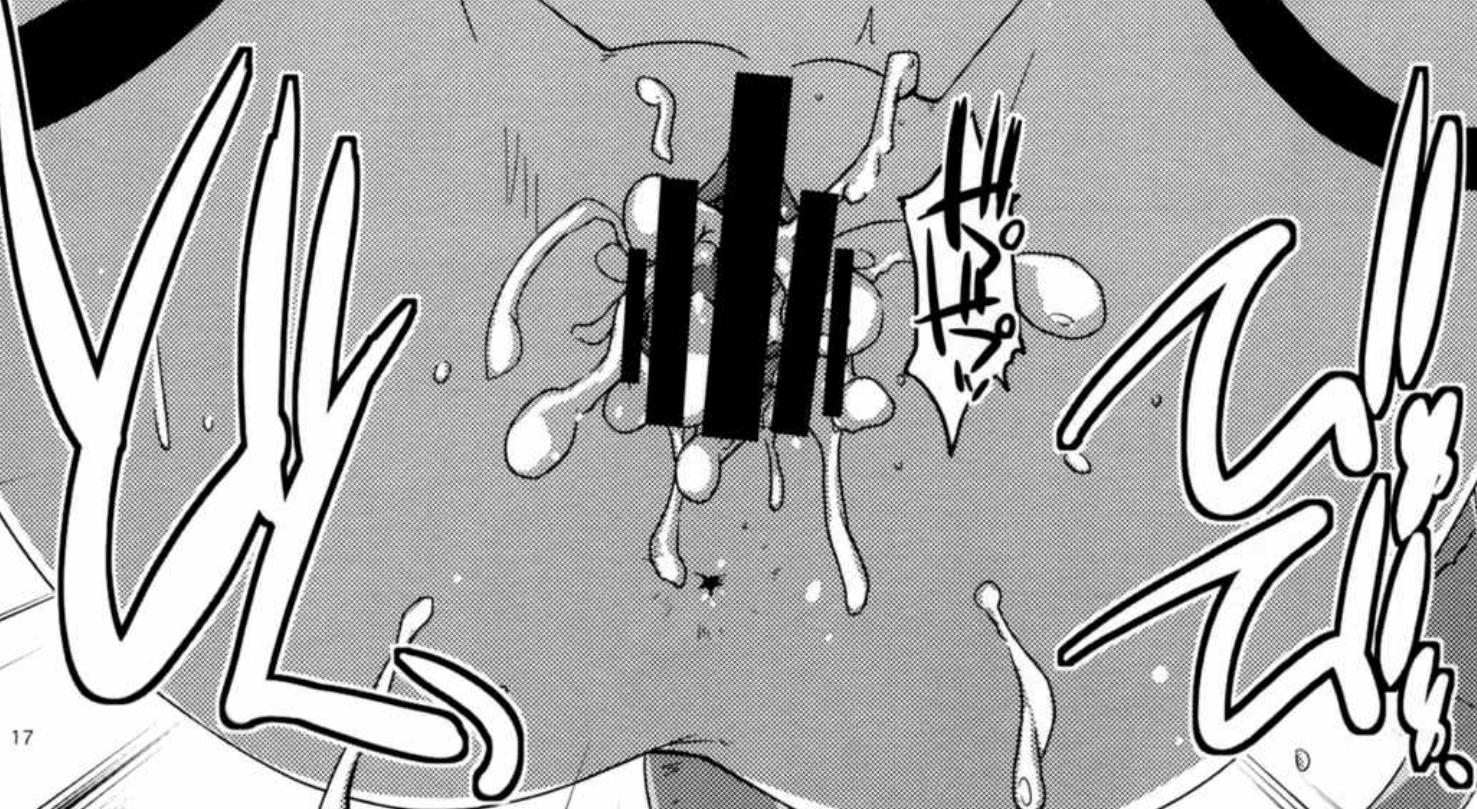




これが……

キリトとの
セックス——

肛内に
キリトの……が





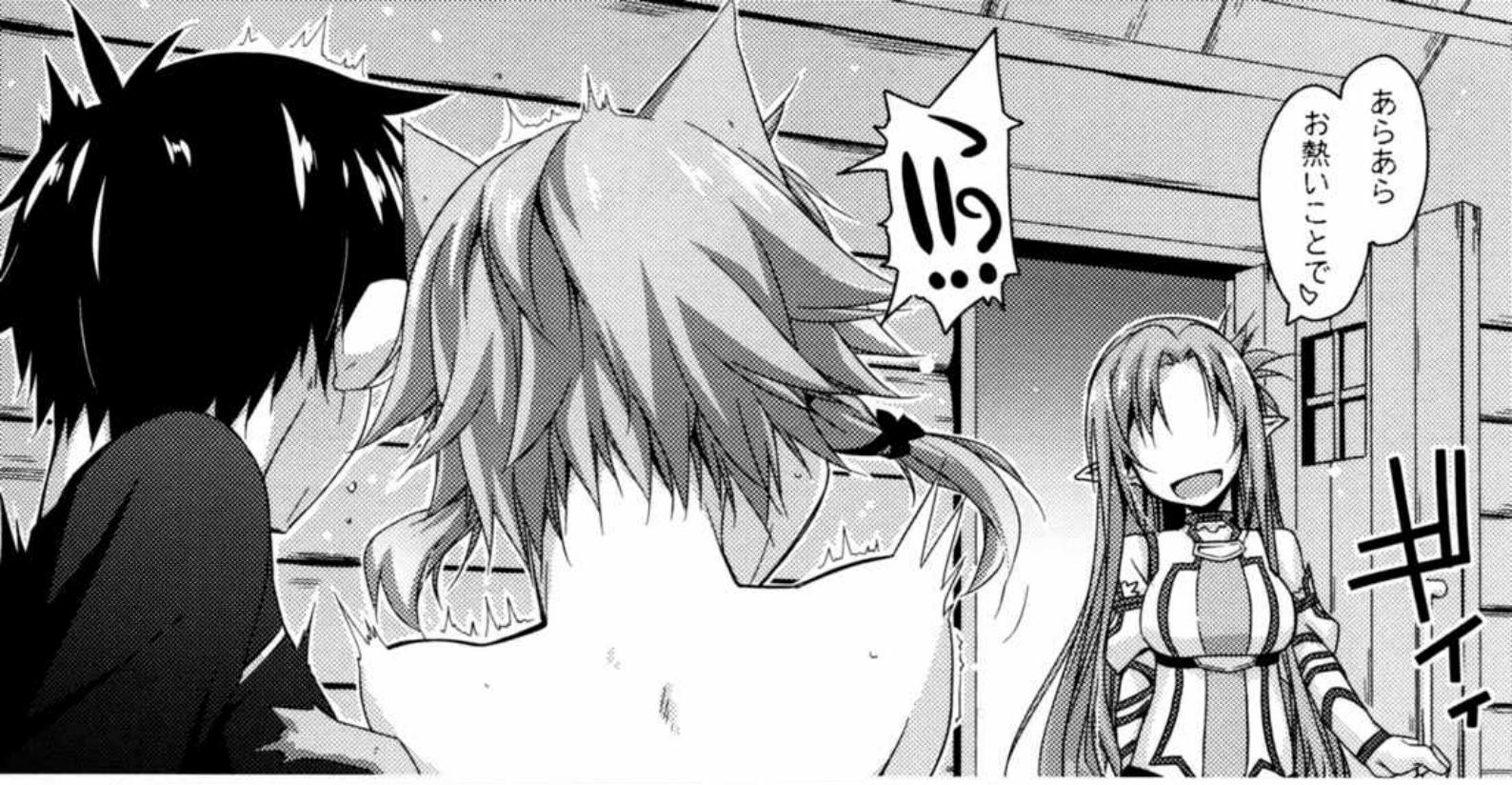












■表紙ラフとついでにアレコレ(=ω=)♪

■今作内での「ハラスマント防止コード(以下コード)」について。アインクラッドでのユイちゃんの存在からじてカーディナルはシステムとしてプレイヤーの感情をある程度解析し理解していく、その辺りは種子を通して新生A.L.O.にも引き継がれているのではないかと思いまして。その上でコードの発動条件があやふやな感がするのは対象の感情も判定に使われているのでは?と。

■不適切な接触が起きた際にそれがアクシデント的なものだったり戦闘中の不意の接触だったりといった状況は当然として、被害者や加害者の感情や親密度的なものも考慮した上でコードを判定していく、それ故にS.A.O.P.3巻のような曖昧な判定や対象者側のウインドウとか身体を弾くか否かとかいった部分があやふやで……

■つまり前話「Mount」でなかなか発動しなかったのは互いの感情が——で、最終的に発動したのは流石にやり過ぎですというお怒りで……みたいな?

■つまり薄い本にそんな深い考案とかねーよ
ご都合主義バンザイひやっはー!
……ってことでひとつm(_ _)m



- というわけでALO派生ルート最終話でした(=°ω°)/
- ちな表紙を夜にするか朝チュンにするかのTwitterアンケートで朝チュンが勝利したことで22pからの展開も微妙に変わりました。当初は夜にするつもりでアスナ乱入はやっている最中だったんですね(^_^ゞ
……つまり行為中の現場そのものは押さえられていないからこの後の地雷処理如何で血の惨劇は免れられるかも……?
- いいや(。A°)
- まあそんなこんなで。アスナが居た上での裏でのキリシ/というALO編でした(=°ω°)/
……なんとか着地できて良かったですわ(^_^ゞ
- ではでは(=°ω°)/シ

Case closed.

発行日
2016年8月14日(初版発行)

著作・発行
しけー・行脚堂
shikei@angyadow.com
<http://www.angyadow.com/>



印刷所

サンライズパブリケーション株式会社

禁無断複製/禁無断転載
ネットワークでの共有等もご遠慮下さい